

Kanoya City Public Relations 2026
広報かのや

KANOYA

鹿屋の「人」と「今」を伝える情報誌

8

Vol.479

特集

繰り返さないために、紡ぐ言葉。
ーハンセン病問題を考えるー



Cover 今月の表紙

鹿屋の元気を熊本に届けたい

8月1日に行われた「かのや夏祭り」。鹿屋の夏の象徴として長く続いています。今年は、令和8年熊本地震の影響で一部縮小しての実施。熊本に元気を届けようと募金活動も行いました。

Contents もくじ

- 3 かのやの「ヒト」にクローズアップ
- 4 繰り返さないために、紡ぐ言葉。
ーハンセン病問題を考えるー
- 14 かのや de ワーク
かのやグランドホテル
- 16 市長と GO 郷トーク
- 18 Hot News
- 22 情報ひろば -Information-
- 31 図書情報／休日救急当番医
- 32 スクールエール／鹿屋街道
- 33 郷原拓男の市長コラム
- 34 読者のひろば
- 35 広告のひろば
- 36 プレゼント／MOVIE でかのや／リナシアター

Instagram



令和8年熊本地震被災者への義援金

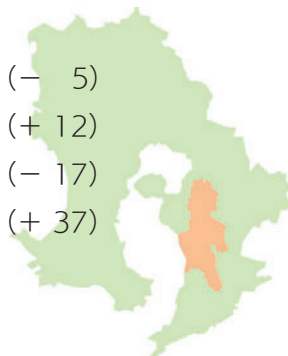
7月28日に発生した令和8年熊本地震による被災者を支援するため、市では義援金を受け付けます。市役所本庁及び各総合支所に義援金箱を設置していますので、ご協力をお願いします。



Information 統計情報・情報ツール

令和8年7月1日時点（前月比）

- ・人口 / 95,142 人 (－ 5)
- ・男性 / 45,489 人 (+ 12)
- ・女性 / 49,653 人 (－ 17)
- ・世帯 / 44,985 世帯 (+ 37)
- ・面積 / 448.15 km²



市ホームページ



フェイスブック
市公式Facebook



ライン
市公式LINE



ラジオ「市政インフォメーション」
FMかのや 77.2MHz(平日8:05～ & 16:05～)



エックス
市公式 X



市総合アプリ
「かのやライフ」



かのやファン倶楽部



マチイロ
(広報誌閲覧アプリ)



いっきょもんぞ!!
よいやんせ!!
かたいもんぞ!!

かのや土曜朝市実行委員会



▲お客さんと会話を楽しみながら、接客をする様子

30年間変わらず 新鮮なものをより安く

かのや土曜朝市は、毎週土曜日の朝5時30分から8時頃まで、本町のイベント広場で開催しています。この朝市は、地域活性化を目的に平成9年から開催しており、今年で30年目を迎えます。

最初の頃は70店舗ほどが出店することもありましたが、現在は10店舗ほどが出店しており、大隅半島で栽培された新鮮な農林水産物や加工品などを生産者が直接販売しています。お客さんからは「新鮮でおいしい食材がとても安い」という評判をいただいております。昔からの常連さんもたくさん来てくれます。

また、出店者の皆さんは「お客さんとお話できることが楽しくて元気になる」と生きがいとなっている方が多いです。私たちが心がけていることは、

かのや土曜朝市実行委員会
会長 迫伸義さきのぶよし



自由な雰囲気を作ること。出店者もお客さんも自由気ままに、自由に来て、自由におしゃべりやお買い物をして、自由に帰る、という当たり前のことが、うちの朝市の魅力だと思っています。生産者がこだわりの持つて作っている魅力的なものでいっぱい土曜朝市に、ぜひお越しください。

また、出店者も募集しています。経費は月500円の出店料だけです。私たちと一緒に自分たちで栽培した野菜や加工品などを販売したり、お客さんとゆっくりお話ししたりしてみませんか。

かのや土曜朝市情報

- 開催日時
毎週土曜日 5:30～8:00
- ※店休日：年末年始、
他イベント開催時
- 開催場所
イベント広場（本町）
- 販売品
野菜、生花、鉢、果物、米、
餅、干物、パン、そば 等
- ※生もの（刺身）等は、販売
していません。

繰り返さないために、紡ぐ言葉。

－ハンセン病問題を考える－

■市保健相談センター TEL 0994-41-2110

私たちに問われること

7月9日、鹿屋市で14年振りに「全国ハンセン病療養所所在市町連絡協議会総会」が開催されました。日本国内の国立ハンセン病療養所が所在する自治体の首長らが集まり、各療養所が抱える課題解決に向けて話し合われました。本市には、昨年創立90周年を迎えた「国立療養所星塚敬愛園」があり、今年に入所者にとって人生の大きな転機となった「らい予防法」の廃止から30年の節目にあたります。

かつて行われた国の隔離政策により、ハンセン病に感染した人が過酷な偏見や差別、家族との離別を強いられたハンセン病問題。その舞台となった13の療養所の1つが鹿屋市にあり、歴史を知る当事者と共に生きる市民として、私たちはこの問題を風化させてはなりません。

本特集では、星塚敬愛園の歩みや入所者の経験談を通じて、ハンセン病問題や今後起こりうる差別にどう向き合うべきかを考えます。誰もが尊厳を持って生きられる社会を築くために、私たちに問われることは…。



繰り返さないために、紡ぐ言葉。

－ハンセン病問題を考える－

7月10日には、星塚敬愛園で慰霊献花や施設見学、園や入所者との懇談会が実施されました。



7月9日に開催された、国立ハンセン病療養所がある自治体でつくる「全国ハンセン病療養所所在市町連絡協議会総会」の様子。

ハンセン病とは 誤った政策と差別

ハンセン病は「らい菌」による慢性感染症です。感染力は極めて弱く、現代では早期発見できれば後遺症を残すことなく完治することが出来ます。しかし、有効な治療法がなかった時代には「不治の病」とされ、感染者は激しい偏見や差別に晒されてきました。

日本でも明治40年に「癩予防ニ関スル件」という法律ができて以降、昭和初期に「無らい県運動」が全国で広がるなど、ハンセン病と診断された患者を療養所に強制的に入所させる隔離政策が国によって進められました。

昭和31年の「ローマ宣言」により、国際的に隔離の不当性が提唱され、世界各国ではハンセン病の隔離政策が解かれていきました。

その一方で、日本では隔離政策が継続され、平成8年に「らい予防法」が廃止されるまで、約90年間も人権侵害が続きました。

平成13年、ハンセン病の隔離政策を進めた国の責任を問う「らい予防法違憲国家賠償請求訴訟」で元患者らが全面勝訴。令和元年には「ハンセン病家族国家賠償請求訴訟」でハンセン病家族への賠償も認められました。ハンセン病の元患者やその家族にまで及んだ偏見・差別を国が認めたことは、私たちがハンセン病問題を見つめ直す契機となりました。

こうした歴史を二度と繰り返さないため、市では講演会やパネル展などを通じて、ハンセン病問題に関する啓発活動に取り組んでいます。

ます。しかし、時の経過とともに、ハンセン病問題を過去の出来事として捉える人も少なくありません。多様な差別や偏見が今なお存在する現代において、ハンセン病の歴史を紐解き、人権について改めて考えることが大切ではないでしょうか。



鹿屋市
ホームページ



星塚敬愛園
ホームページ





不自由舎出張治療（昭和26年）



収容される人々（昭和10年）

差別の記憶 ハンセン病の歴史

時代で変化した

「ハンセン病」の認識

古代から近世までのハンセン病は、時代によって「仏罰による病」「穢^{けが}れた病」「家筋・血筋が原因の病」と認識されてきました。

日本で初めて「癩^{らい}」の言葉が登場したのは、720年の「日本書紀」。ここでは一般的な病気としての記述にとどまっていたが、12世紀の「今昔物語集」では、比叡山の僧侶が仏罰を受けて「白癩^{びやくらい}」となり、穢^{けが}れた者として扱われたと記述されています。

明治以降になると、各地の神社・

仏閣には放浪する患者が多いた

とされており、こうした患者は文

明国にふさわしくないとされ、隔

根拠なき差別

強制隔離の現実

昭和6年に「癩予防法」が制定されたことで、ハンセン病と診断された患者の強制隔離が進められました。各都道府県がすべての患者を療養所に隔離し、一掃する目的で行われた「無らい県運動」により、患者はすぐに警察に届けられ、犯罪者のごとく強制隔離されるようになりました。

ハンセン病は当時、感染力が高く、遺伝すると考えられていたため、患者の住居は真っ白になるまで消毒作業が行われ、周りの住民に強い恐怖を与えました。

また、患者の家族も同様に差別を受け、結婚の拒絶や強制的な離婚、村八分にされるなどの差別があり、患者と家族は共に「家族であること」を隠さなければならませんでした。

明治6年

ノルウェーのハンセン医師がらい菌を発見

明治40年

「癩予防二関スル件」制定

昭和6年

「癩予防法」制定

昭和10年

星塚敬愛園が開所

昭和18年

患者23人が初めて入所
入所者数が最多の1,347人に（年度末）

昭和20年

米軍の空襲で入所者7人が死亡

昭和21年

「星塚敬愛園患者自治会」発足

昭和22年

日本でプロミンの使用開始

看護婦による病棟看護の開始

（以前は入園者による付添看護）

昭和28年

「らい予防法」制定

昭和47年

皇太子殿下・美智子妃殿下来園

昭和53年

夏まつり納涼大会が初めて開催

昭和56年

第3回全国ゲートボール選手権大会で星塚ヤンガーズが優勝

平成8年

「らい予防法」廃止

平成13年

「らい予防法違憲国家賠償請求訴訟」で原告勝訴・国が控訴

平成14年

を断念し小泉首相が謝罪

平成20年

敬愛園内の火葬場が廃止

平成20年

「ハンセン病問題の解決の促進に関する法律」制定

令和元年

「ハンセン病家族国家賠償請求訴訟」で原告勝訴・国が控訴

令和7年

を断念し安倍首相が謝罪

令和7年

星塚敬愛園創立90周年式典

繰り返さないために、紡ぐ言葉。

—ハンセン病問題を考える—



隊列を組む少年団奉仕作業（昭和14年）



横尾岳中腹の木材切り出し作業
（昭和19年）



園内の学校に通う子ども

奪われた名前 正子ではなく八重子

私は13歳の時に出身地である沖縄を出て、星塚敬愛園にやってきました。船を乗り継ぎ、垂水港からはタクシーに乗るつもりでしたが、運転手に敬愛園行きを伝えると断られてしまい、約32kmの道のりを父とともに歩きました。

入所後には、「八重子」の名前が与えられ、これからはそう名乗るようにと言われました。自分の本名を名乗ることができず、両親からももらった「正子」という名前を否応なしに奪われたのです。初めの頃は訳も分からず、自分の名前を間違えないように、その新しい慣れない名前をひたすらに頭の



うえの まさこ さん（99歳）
上野 正子

昭和2年沖縄県石垣島生まれ。13歳の時に、ハンセン病を発症し星塚敬愛園に入所。現在は「語り部」として精力的に講演等を行う。

中で繰り返していました。

園での生活は決して楽なものではありませんでした。入所者は豚や乳牛の飼育や農耕作業、火葬業務など、生活の様々なことを自分たちで行っていました。また、入所者の看護・介護も自分たちで行っていたので、満足な治療を受けられませんでした。

こうした日々の中でも、私はいつか社会復帰を果たすつもりで、病棟治療部員として働き、お金を貯めていつか家に帰るんだと思っています。

子どもを授かることが 許されない人生

18歳の時、私は園内で結婚しました。当時は結婚すると、12畳半一間で仕切りのない部屋に4組の夫婦で一緒に住まなければならず、仕切り代わりになればと夫がちゃぶ台を作ってくれました。



夫が作ってくれた「ちゃぶ台」

子どもが好きで、教師になりたいと思っていた私は、結婚して子どもを産み育てることを夢見ていました。



病棟治療部員の頃の上野さん。
昭和17年に撮影された写真。

結婚した翌日、初めて夫の下着を洗濯したとき、血や消毒液がついているのを見つけて驚きました。夫に理由を聞くと、前日に結婚の手続きをした際、「ここで結婚するためには、断種手術をしなければならぬ。」と言われ、手術台に上がったのです。「もし妻が妊娠したら強制堕胎をさせられる。そんな辛い思いはさせたくないと思った。」とも話してくれました。

その頃には、ハンセン病の特効薬であるプロミンも開発されておりました。私たち夫婦は健康そのものでした。それなのに、私たちは一生子どもを持つことができない。それは、とても辛く、悔しいものでした。



過去の過ちを 忘れないように

星塚敬愛園の設立

昭和に入ると、国は全国各地にハンセン病療養所の設置を進めました。当初、県内の候補地は第一候補に指宿郡穎娃川尻、第二候補に肝属郡大崎村大崎海岸、第三候補に肝属郡鹿屋町、第四候補に日置郡谷山町上野がありました。しかし、いずれも市街地に近すぎたことや、飲料水の確保の問題、地元（星塚原）の大きな反発などがあり難航。これを受けて誘致活動を行う永田良吉衆議院議員の地元・大始良村（星塚原）が誘致先となりました。

こうして、昭和10年10月28日に星塚敬愛園は設立され、全国に13ある国立ハンセン病療養所のうち9番目の開設となりました。当時の敷地面積は約17万1,600㎡に及び、60棟の建物と定数300床で始動。開園して5日目には患者の入所が始まり、同年12月には沖縄・奄美の患者200人以上が一挙に収容されました。

「政治は愛なり」 敬愛園設立に燃えた男

星塚敬愛園は、地元大始良村出身の衆議院議員で、後に鹿屋市長も務めた永田良吉氏によって誘致されました。

当時、沖縄・奄美を中心とした南九州は、ハンセン病患者が全国的に多い地域でした。いち早く療養所を誘致しなければならないと、若手議員だった永田氏は、地元の激しい誘致反対活動や家族を巻き込んだ迫害等があったにも関わらず、熱心な誘致運動を展開し、同園の設立を実現させました。

永田氏の「政治は愛なり」という言葉は、この時に生まれたものとされています。また、星塚敬愛園の「敬愛」は初代園長・林文雄氏が西郷隆盛の「敬天愛人」からヒントを得たとされています。



ながた りょうきち 衆議院議員

繰り返さないために、紡ぐ言葉。

－ハンセン病問題を考える－



胎児慰霊碑

強制的に堕胎された子どもを
供養する碑（平成20年築）



初代納骨堂

吾平山上陵を模して造られた
半地下式納骨堂(昭和14年築)



初代火葬場

昭和10～24年まで使われた、赤レンガ造
りの火葬場。隔離政策の象徴とされる。

歴史を紡ぐモノ 数々の史跡

星塚敬愛園には、忘れてはなら
ない歴史を伝える史跡が数多く残
されています。

かつて「患者自らが療養所を運
営する」という状況に置かれた同
園では、軽症の入所者が重症者の
看護及び介護にあたり、橋の建設
や火葬業務なども入所者自身の手
で行われていました。

当時の偏見や差別の歴史を伝え
る史跡は、今も大切に残されてお
り、園内の「社会交流会館」では、
当時の様子が分かる貴重な資料や
書物などが展示されています。歴
史を紡ぐまちの市民として、正し
い理解と人権への意識を深めるた
めに、ぜひ一度見学にお越しくだ
さい。



旧居住区棟

以前使われていた居住区棟。1人1畳の
居住スペースしかない時期もあった。

歴史を紡ぐヒト 次世代につなげる責任

令和8年7月末現在、星塚敬愛
園には44名が入所されており、平
均年齢は90歳を超えています。当
時を知る方々が少なくなるなか、
同じ過ちを繰り返さないためにも
「記憶の継承」が急務となってい
ます。

一方で入所者の高齢化に伴い、
直接お話を伺う機会が失われつつ
あります。だからこそ、私たちは
入所者の生の声から歴史の真実と
現状を学び、人権の尊さについて
一人ひとりが考え続け、未来へ語
り継いでいく責任があると考えて
います。



原田 玲子 さん

星塚敬愛園社会交流会館学芸員。三重県
四日市市出身。介護職員を経て学芸員の
資格を取得し活動する。

娘の興味がきっかけ 家族で学ぶ人権

小学6年生の娘が学校でハンセ
ン病問題を知ったことをきっかけ
に、県主催の親子療養所訪問で星
塚敬愛園を訪れました。

娘は、「中はとても広くて、お
店や郵便局もあった。便利だと
思ったけれど、それは一歩も外に
出さなためだったと知って悲し
かった。」と話していました。

息子は、「法律は変えられても
人の心は簡単には変わらないた
め、正しい知識と歩み寄りが大切
だ。」と深く受け止めていました。
私も、偏見や差別のない社会に
するには、正しい知識を持ち、様々
なことに興味を持って相手に接す
ることが重要だと痛感しました。
これからは一人ひとりの個性を大
切にし、互いに歩み寄る姿勢を心
掛けていきたいです。



親子療養所訪問に参加した鹿屋市在住の親子

太田 恵子 さん (左)・隼人 さん (右)
葵 さん (中)

ハンセン病問題を未来へ紡ぐため、伝聞だけでなく自ら行動し、様々な活動に取り組む人々がいます。どのような想いで活動しているのか、お聞きしました。

語り部から演劇を通して 次の世代に

ハンセン病をテーマとした演劇を作った一番のきっかけは、25年ほど前に星塚敬愛園の語り部の方からお話を伺ったことでした。「いつかは取り組みたいテーマ」と思いついていましたが、実際に書くには大きな覚悟が必要でした。描き方次第では観客に誤解を与える恐れがありました。当初は裁判の勝訴をクライマックスにすることも考えましたが、人間として「名前を奪われること」が差別の本質だと気づき、奪われた名前と「人間回復」への過程を描くストーリーへ方向転換しました。

執筆で最も意識したのは、問題の大きさをしっかりと受け止めつつも、単なる同情だけで終わるドラマには絶対にしないことでした。

から未来へ 紡いでいく



6月20日、鹿屋市文化会館で「令和8年度ハンセン病問題啓発講演会」が開催され、伊集院高校演劇部によるハンセン病劇「そのひとの名前」が公演されました。



今の私たちにも 決して他人事ではない

演じる生徒たちが当事者の気持ちに寄り添うため、演劇部員は実際に星塚敬愛園を訪問し、資料館の見学や入所者との交流を重ねてきました。彼らには自ら学ぶだけでなく、同世代の若い人たちへも、自分たちの言葉と演技で伝えていってほしいと願います。

この演劇を通して、「人間は同じ過ちを犯す可能性がある」ことを改めて認識してほしいです。当時、人権を無視した国の施策に多くの人が疑問を持たず従った背景には、病への無知や他人事にする態度がありました。近年でも、コロナ禍の感染者への理不尽な差別などが挙げられますが、ハンセン病問題のような事象は過去の出来事ではなく、現代でも起こります。この演劇が、その本質に気づくきっかけになれば幸いです。



うへだ みわ さん
上田 美和 さん

伊集院高校の演劇部顧問。これまで各校で演劇脚本を手がけ、あきた総文2026の演劇部門で優秀賞を獲得。

繰り返さないために、紡ぐ言葉。

－ハンセン病問題を考える－



こやまがわ はやて
小梁川 颯 さん（伊集院高校3年）

鹿児島市吉野町出身。中学生の時に上田先生の演劇を見て、伊集院高校への進学を決意する。

今回、「そのひとの名前」の主要役をして、より当事者の気持ちに近づけたと思います。名前を奪われ、一人の人間として当たり前に生きる権利を奪われる。当事者と全く同じ気持ちになることはできませんが、その気持ちを理解し、セリフや仕草、表情などを通して全身全霊で伝えていければと思って演じました。

演じれば演じる程、この問題の大きさを強く感じるとともに、差別が「遠いものではない」と考えるようになりました。次の世代である自分たちが、このような問題を知り、また身近なことであることを演劇を通して伝えていきたいと思っています。

「分かったつもり」になつていた差別

過去

「共に歩む会」の会員が園内の史跡を案内する様子。



私たちは、元々「らい予防法違憲国家賠償請求訴訟」の勝訴に向けて活動をする団体でした。平成13年の勝訴後、一度は解散の話も出ましたが、裁判が終わっても社会の根深い偏見・差別は解消されず、入所者の高齢化や療養所の将来、さらには家族や遺族の救済など、真の「全面解決」にはまだ多くの課題が残っていました。

そこで平成19年3月にNPO法人を立ち上げ、現地ガイドや映画上映の定期的なイベント等の啓発活動、入所者への訪問支援等を行っています。

今後もし入所者の生の声を知る歴史を紡ぐ一員として、多くの世代に語りかけ、ハンセン病問題の全面解決に向けて取り組みます。

入所者の生の声を 知る者の一人として



ちやえん りょういち
茶圓 亮一 さん

NPO 法人「ハンセン病問題の全面解決を目指して共に歩む会」理事長。入所者や自治会、市と連携して活動を行う。

私たちが から学ぶべきこと



今もこれからも 入所者を支え続ける

入所者の方々は、これまで様々な偏見や差別を受け、想像を絶する苦難を経験されてきました。現在は、ハンセン病の後遺症に加え、高齢化に伴う疾患を抱えながら日々の生活を送っています。

このような中、私たち星塚敬愛園の職員は入所者の方々に寄り添い「敬愛園で過ごしてよかった」「あなたに会えて良かった」と思ってもらえるよう、全人的な視点で医療や看護、介護、福祉の各分野で一丸となって業務に励んでいます。

また、社会交流会館や歴史的建造物の見学などを通して、啓発活動にも取り組んでいます。鹿児島



やまもと たかふみ
山元 隆文 さん

第11代星塚敬愛園園長。副園長を経て、平成31年4月に就任。現役の医師として消化器内科を専門とする。

県や宮崎県が主催する療養所訪問事業をはじめ、年間を通して多くの学生や一般の方々が当園を訪れています。こうした活動を通して、ハンセン病問題の歴史をさらに多くの方に伝えたいと考えています。

入所者の方々の願いは、同じ過ちを繰り返さないということです。しかしながら、コロナ禍においても患者さんやそのご家族に対しての偏見や誹謗中傷が大きな問題となりました。まだまだ偏見・差別は私たちの身近にも存在しています。

これからも多くの方に来園いただき、偏見や差別のない社会の実現に向けて一緒に取り組んでいきたいと考えています。皆様のご来園を心よりお待ちしております。



ハンセン病啓発パネル展



星塚敬愛園入所者自治会 80 周年記念花火大会



ハンセン病市民学会第17回総会・交流集会 in 鹿屋

繰り返さないために、紡ぐ言葉。

－ハンセン病問題を考える－

最初の夜、ふさぎ込んでいた私に、あるおばあさんが「リンゴを食べなさい」と手を伸ばしてくれました。でも、その手には指がなく、お礼を言おうと見上げた顔の形相に驚き、私は「うわあ」と大声を上げて布団にくるまってしまいました。あの時の申し訳ない、取り返しのつかないことをしたという気持ちは、

初めて受けた差別と 自らが犯した差別

「旅行に行くぞ」という両親の言葉信じて、長崎から鹿児島へ向かったのが昭和35年、私が12歳の時でした。船の客室は空いているのに、なぜか私たちは機関室の横に立たされていました。今思えば、差別はそこから始まっていたんだと思います。

今を生きる ハンセン病



やまぐち ふみお
山口 文夫 さん (77 歳)

昭和 24 年長崎県長崎市生まれ。第 20・22 代星塚敬愛園入所者自治会会長として、ハンセン病問題の啓発活動を積極的に行う。

77 歳になった今でもはつきりと胸に残り、またその時の様子は眼にしつかりと焼き付いています。

翌日、帰ろうとした私は大人たちに羽交い絞めにされ、「ここで治療をするんだ」と言われました。抵抗できず、その時初めて自分が病気で、ここに隔離されたのだと悟りました。

すべての世代に 必要な教育

私もかつてハンセン病の患者に対して、差別をしてしまった一人です。差別を完全になくすことは、困難なことかもしれませんが、それは無知であり、他人事だからゆえに起こることだからです。ハンセン病問題は過去のことだと考える人は多いですが、現在でも見知らぬ



7 月 28 日に行われた、親子を対象とした星塚敬愛園訪問事業で、参加者が入所者と交流を行っている様子。

ぬ人に差別的な言葉を投げかけられたことがあります。これは、かつての私と同じように「知らない」ことが原因だと思っています。だからこそ、全ての世代が問題意識を持ち、学び続けることが大切ではないでしょうか。自治会長として、また語り部として、ハンセン病問題を周知することにこれからも尽力していきます。

すべての世代が過去の歴史を知り、「他人事ではなく自分事」として考えてくれば、同じ過ちは繰り返されないと私は信じています。

ハンセン病問題講演会

映画「新・あつい壁」に寄せた私の思い

中山 節夫 監督



ハンセン病問題講演会



星塚敬愛園創立 90 周年記念式典

療養所訪問事業

あなたのやりたい「しごと」が見つかる！

かのや

de

ワーク

Vol.53



かのやグランドホテル
小林 祥太 総支配人



地域に寄り添う おもてなし

弊社は、令和元年に前身ホテルの営業を引き継ぎ、リニューアルオープンした「かのやグランドホテル」として操業し、今年で8年目を迎えました。宿泊をはじめ、宴会、BBQ、レストランなど幅広いサービスを提供し、お客様一人ひとりに寄り添ったおもてなしを大切にしています。

宿泊部門ではシングル・ダブル・トリプルなど全66室の客室を備え、県外からのお客様をはじめ、お盆などの帰省時にはご家族での宿泊にもご利用いただいています。宴会部門では、市民の皆様を中心に祝いの席やご宴会など、様々な場面でご利用いただいているほか、企業の

商品PRや商談の場としても活用されています。

また、ホテルでの業務にはフロントや調理、レストラン、宴会、清掃などさまざまな部署があり、幅広い業務を行う必要があるため、人材育成にも力を入れています。社員がスキルアップを希望する際には、できるだけ早く学びの機会を設けるように心掛けています。私自身も社員と一緒に学ぶ機会を大切にしており、役職に関係なく気軽に相談し合える、温かい職場であることが当ホテルの魅力だと思っています。

今後も地域の皆様に親しまれ、県外から訪れるお客様には鹿屋の魅力を感じていただけるホテルとして、「また来たい」と思ってもらえるサービスを提供できるよう、スタッフ一同努めてまいります。



▲フロントでの接客の様子

食とおもてなしで地域を彩る

かのやグランドホテル

企業情報

information

住 所 鹿屋市共栄町 12-3

電 話 0994-44-5511

設 立 令和元年

代表者名 小林 祥太

従業員数 30 人

平均年齢 40 歳

採用実績 1 人（令和 7 年度）

福利厚生 各種保険（雇用、健康、厚生年金、労災）、
各種手当（通勤、資格、技能）、
退職金、各種有休制度 など



▲ホームページ



▲朝食バイキングの一部である
郷土料理コーナー

弊社では、鹿屋ならではの食の魅力を感じていただけるように、宿泊のお客様には朝食で地元食材を使用した郷土料理を提供しています。また、スタッフ同士で定期的にミーティングを行い、メニューや提供方法の見直しのほか、周辺の飲食店の情報を共有しお客様に案内することとで、地域の食の魅力もお伝えしています。

宴会料理では、多くの市民の皆様にご利用いただくからこそ、当ホテルの料理に満足していただけるよう、地元食材に加え、県外からも厳選した食材を仕入れ、一品一品にこだわった料理を提供しています。

鹿屋の魅力を

「食」で届ける

ココに注目！

私の仕事！



くぼた あや
久保田 文 さん
(37歳／入社8年目)

本市出身。休日や仕事終わりは、市内の美味しいごはん屋さんを巡ることが多い。

私は前身ホテルの時代から勤務し、現在はフロント業務のほか、宴会での接客やランチサービスの提供などを担当しています。お客様から感謝の言葉をいただけることが何よりのやりがいです。親しみやすい接客を心掛けており、宿泊のお客様におす

めの飲食店を聞かれた際は、趣味で得た飲食店などの情報をお客様へのご案内に生かしています。スタッフ同士の仲も良く、これからもお客様一人ひとりに寄り添い、当ホテルのファンをより増やせるようなおもてなしを大切にしていきたいです。

市長と GO 郷トーク

市では市民の皆さんの市政への理解を深めていただくとともに、市民の声を生かしたまちづくりを推進するために「市長とGO郷トーク」を開始しました。

閩市秘書広報課 TEL 0994-31-1122
FAX 0994-43-6821



あなたの声が、
まちの未来をつくる。



▲専用フォーム



▲市ホームページ

市民の皆さんとの意見交換の場を設置

今年度から市長が市政の現状を説明し、市民の皆さんと意見交換を行う「市長とGO郷トーク」をスタートさせました。

市政に対する理解をより深めていただくとともに、多くの市民の皆さんの声を生かしたまちづくりを推進し、市民の皆さんの主体的な市政参画や行政との協働を促進するために実施するものです。

トークテーマはまちづくりや子育て、教育、福祉など、参加される皆さんが話したい内容を自由に設定できます。今年度は5回程度、次年度以降は年10回程度開催を予定しています。

あなたが市政に関して思っていることを市長と直接意見交換してみませんか。皆さんの応募をぜひお待ちしております。

- 対象者 概ね5人以上で構成された市内の各種団体など（上限30人程度）
- 内 容 ○市政の現状に関する説明＝約20分
○意見交換・質疑応答＝約40分
- 申 込 参加申込書を提出又は専用フォームから申し込み

※日時、場所、テーマは参加団体と調整して決定



未来のまちづくり
のアイデア



子育て・教育・
福祉のこと



暮らしやすい環境
・交通のこと



まちのにぎわい
魅力づくり

第1回目の GO郷トークを開催

7月27日、市役所で令和8年度第1回市長とGO郷トークが開催されました。初回は市内の3団体（JC・YEG・法青会）から計16人が参加。最初に市長が市政の現状について説明を行った後に、3つのトークテーマに沿って意見交換が行われました。各団体からは様々な意見が出され、今後の市政運営に向けて、有意義な意見交換となりました。



●参加者

- ・ 鹿屋青年会議所（JC）
- ・ 鹿屋商工会議所青年部（YEG）
- ・ 鹿屋肝属法人会青年部会（法青会）

●トークテーマ

- ① 鹿屋市の人口減少と今後の対策
- ② 文化財等の観光への活用
- ③ スポーツ振興
（野里運動公園サッカー場の活用）



こんなことが、
話し合われました。

① 鹿屋市の人口減少と今後の対策

- ・ 例えば別府市は、観光資源や学びの拠点など“強み”が分かりやすく、鹿屋も「武器（＝強み）」の明確化が必要。
- ・ 県外企業が家賃・交通費等を負担するケースがあり、鹿屋でも行政から移住者・就職企業への支援制度の拡充を望む。
- ・ 不妊治療や晩婚化など背景は複合的。治療負担軽減や出会い・結婚支援の後押しも必要。

② 文化財等の観光への活用

- ・ 鹿屋航空基地史料館は教育的価値が高く、学校教育・平和学習と観光の両面で発信を強めてほしい。
- ・ 歴史的建造物・文化財が十分に活用されないまま失われることが懸念。保存・改修による活用を期待。
- ・ 大隅地域は戦跡・古墳など歴史資源が多く、広域での周遊ルート造成や連携強化を求める。

③ スポーツ振興

（野里運動公園サッカー場の活用）

- ・ 整備されたサッカー場は利用が多く、交流人口拡大に効果。複数面整備や周辺環境の改善を望む。
- ・ 合宿・大会誘致は経済波及が期待できるが、宿泊受け入れ等も含めた環境整備が課題。
- ・ 合宿地としてのブランディングには長期視点の計画が必要。利用者（選手・指導者）の意見反映も重要。

和牛日本一、連覇を目指す



7月2日、さつき苑で「北海道全共日本一プロジェクト決起大会」が開催されました。これは令和9年に開催される第13回全国和牛能力共進会北海道大会に向けて、肝属地区推進委員をはじめとした関係者で機運醸成を図るために実施されたもので、和牛日本一に向けて決意を新たにしました。

思い出の場所にテントを寄贈



7月6日、かのやグラウンド・ゴルフ場で久保園東一さん^{くぼのとういち}から本市にテント一式が寄贈されたため、感謝状贈呈式が行われました。久保園さんは「妻と夫婦で楽しくプレーした思い出の場所であり、今後もグラウンド・ゴルフ競技が盛り上がってほしい」とコメントされました。

はじめてのカヌー体験



7月18日、吾平小学校プールで同校区子ども育成会によるカヌー体験教室が行われ、18人が参加しました。初めてのカヌー体験に悪戦苦闘しながらも大いに盛り上がりました。

全国大会での活躍を誓う



7月9日、「第20回鹿児島県障害者スポーツ大会」において、上位入賞を果たした選手らが市役所を訪れました。10月に青森県で開催される全国大会に向けて、抱負を語りました。

全国で自己ベスト更新を



7月9日、県陸上競技大会において上位入賞を果たしたKmtk.Jrの選手^{キモツキジュニア}らが市役所を訪れ、11月に国立競技場で開催される全国大会での自己ベスト更新を誓いました。



海水浴場に子どもたちの声響く



7月10日、高須海水浴場で「高須海水浴場及び浜田海水浴場開設式」が実施されました。当日は、海水浴場の安全祈願祭を実施したほか、高須保育園の園児による初泳ぎが行われました。園児たちは歓声をあげて水を掛け合うなど、子どもたちの元気な声が海岸に響きました。

味覚糖と立地協定を締結



7月21日、グミなどお菓子の製造・販売を行う味覚糖株式会社（みかくとう）が吾平町に工場を設置することから、本市と立地協定を締結しました。工場では「おさつどきっ」の原料となるサツマイモのスライスや冷凍加工が行われる予定で、令和9年9月の操業と23人の新規雇用が見込まれています。

未来ある子ども達の教育に役立てて



7月8日、有限会社郷原緑蔭園（ごうはらりよくほうえん）から本市に100万円が寄附されたため、市役所で贈呈式が行われました。同社の郷原聖哲（ごうはらのあき）代表取締役は「鹿屋市の子ども達の教育に役立ててほしい」と話し、市長は感謝の言葉を述べたあと、感謝状を手渡しました。

災害対策運営の一助に



7月16日、鹿児島県LPガス協会大隅支部から本市に防災セットが寄贈されたことに伴い、市役所で寄贈式が行われました。同会の宮園春人（みやぞの はると）支部長は、「災害発生時などに、防災の拠点となる災害対策本部などで、ぜひ活用いただきたい」と述べました。

ジェンダー平等を考える



7月25日、イオンかのやショッピングセンターで男女共同参画地域推進員が、男女共同参画週間に合わせ街頭啓発活動を実施し、ジェンダー平等への理解を呼び掛けました。

九州でも目指せ優勝！



7月22日、寿パッションズ軟式野球スポーツ少年団の選手らが市役所を訪れ、「モダンプロジェカップ第15回全九州学童軟式野球大会」への出場を報告し、意気込みを語りました。

古江で国際交流



7月19日、古江町で「世界のカレーでつながる古江」が行われました。インドネシア、フィジー、日本のカレーの食べ比べを通じて、文化の多様性に触れながら国際交流を図りました。

未来の地球のために、ごみで宝物を



7月19・20日、鹿屋ライオンズクラブ結成60周年記念として、地元の小学生と共に廃材やごみを活用したアート制作事業「YOKA-ANBE CANVAS」で制作された巨大クジラが浜田海水浴場で展示されました。来場者は巨大アートを眺めながら、海の環境について考えていました。

鹿屋の海を満喫



7月20日、高須・浜田海岸で「かのやマリンフェスタ2026」が開催されました。これは、マリンスポーツなどを通じて両海岸の魅力を知ってもらうために開催されるイベント。当日はバナボートなどの体験のほか、ビーチサンダルとばしなどのイベントが実施され、多くの人が鹿屋の海を満喫しました。

故郷の肝属川をきれいに



7月26日、肝属川沿いで「第43回肝属川クリーン作戦～ウォーキングごみ拾い～」が行われました。76団体・約1,000人が参加し、樋渡橋（下祓川町）から河原田橋（川東町）までのごみ拾いが行われました。参加者は、故郷の河川を少しでもきれいにと、思いを込めてゴミを拾っていました。

平和について考える機会を



7月25日、市観光総合物産センターで「語り継ぎたい『鹿屋の記憶』展示コーナー」の設置に伴い開設式が行われました。これは、鹿屋と太平洋戦争の関わり等の資料を展示することで、平和について考える機会を創出するものです。同館で年末年始を除く9時～17時まで閲覧できます。

弓道で九州制覇を目指す



7月28日、鹿屋東中学校弓道部が市役所を訪れました。同部は5月の県大会で男子が2位、女子が優勝を果たし8月の九州大会に出場。全国を目指したいと抱負を語りました。

金銭教育の浸透を図る



7月28日、鹿児島キッズマネースクールゆめかなえ校から市内全小学校に金銭教育の普及を目指す絵本が寄附されました。贈呈式では、中野教育長が感謝の言葉を述べました。

ドッジボールで九州へ



7月27日、ドッジボールの県大会で上位入賞を果たし、九州大会に出場するBLAZE KANOYAの選手が市役所を訪問し、九州大会での活躍を誓いました。

鹿屋の熱い夏、大盛況!!



7月18日にくしら夏祭り、8月1日にかのや夏祭り、8月2日に美里あいら夏祭りが行われ、それぞれが趣向を凝らしたプログラムで来場者を楽しませました。前夜祭も行われるなど、多くの人が大いに鹿屋の夏を満喫し、地域を盛り上げました。



申請

有害鳥獣被害対策として 設置する電気柵購入への助成



イノシシなどの有害鳥獣からの農作物被害を防止・軽減するため、電気柵の購入費用の一部を助成します。

●対象者 ※次の要件に全て該当する農家（法人を含む）

○市内に住所を有すること

○年間の農産物販売金額が 50 万円以上であること

○市税を滞納していないこと

○被害報告がある市内の農地を耕作していること

※耕作放棄地や畜舎は不可

○電気柵の管理を行っていること

※電気柵は雑草等が電線に触れた状態では正しく作動しない場合があるので、定期的な草刈り等が必要

●助成金額 購入金額の 2 分の 1 以内（上限 5 万円）

●申請 申請書を市林務水産課又は総合支所産業建設課に提出

※申請書は、市林務水産課、総合支所産業建設課、市ホームページに有り

市林務水産課 TEL 0994-31-1173

情報ひろは

-Information-

9月のイベント など



●9/6(日)・18(金)・19(土)

○第26回笠之原十五夜大綱引大祭

綱編み 6日(日) 9:00～20:00 笠之原公園

前夜祭 18日(金) 17:00～21:00 玉山神社

本祭 19日(土) 17:30～21:00 笠之原公園

市笠之原十五夜大綱引大祭実行委員会

TEL 0994-43-4291



●9/6(日)

○コーラスフェスティバル2026

13:00～ リナシティかのや3階ホール

市鹿屋市コーラスフェスティバル実行委員会

TEL 090-2085-0800(池畑)

●9/17(木)・18(金)

○一得！高齢者ねんりん生き活き週間

10:00～16:00 イオンかのやショッピングセンター

市高齢福祉課 TEL 0994-31-1116

●9/19(土)

○カプリス・プロムナードコンサート in 鹿屋

14:00～16:00 リナシティかのや3階ホール

入場料 一般1,000円 高校生以下500円

※当日券のみ ※未就学児無料(親子観覧室あり)

市カプリス・サクソフォン・カルテット

TEL 090-5298-4217(前田)

●9/27(日)

○中国伝統楽器二胡～弦歌弓舞～劉福君親子二胡コンサート

13:30～ リナシティかのや

市劉福君九州二胡教室 TEL 090-9796-8602(野尻)

大隅のイベント

●9/12(土)

○2026志布志みなとまつり

17:00～ 志布志港旅客船埠頭(観光船パース)(志布志市)

●9/20(日)

○活水高等学校・中学校吹奏楽部演奏会 in そお

13:30～ 曾於市末吉総合センター(曾於市)

募集

市有財産(土地・建物)の公売



●対象物件

所在地	種類等	面積 (㎡)	予定価格 (百円)
上谷町 11543 番 10	土地 (宅地)	931.17	27,544
上高隈町 675 番 2	土地 (宅地)	503.99	6,773
上高隈町 689 番 3	土地 (宅地)	715.08	4,226
串良町細山田 4839 番 2	土地 (宅地)	2691.62	35,017
吾平町麓 101 番 4	土地 (宅地)	587.34	1,340
	建物 (木造平屋建)	97.53	

●入札日時 9月17日(木) 10:00～

●入札場所 市役所4階401会議室

●入札時に必要なもの 入札書、印鑑

※代理入札は要委任状

●申込 9月11日(金) までに必要書類を提出

※必要書類等は市財産活用推進室又は市ホームページに有り

※希望者は現地確認可能

市財産活用推進室 TEL 0994-31-1153

募集

令和8年度自衛官等



●種目等

種目	資格	申込期限
航空学生 (航空・海上)	18 歳以上 24 歳未満	8/ 28 (金)
一般曹候補生	18 歳以上 33 歳未満	9/ 1 (火)
2 等陸海空士 (任期制自衛官)		9/ 10 (木)
防衛医科大学校 (看護)	18 歳以上 21 歳未満	10/ 2 (金)
防衛医科大学校 (医学)		10/ 8 (木)
防衛大学校 (一般)		10/15 (木)

※詳細は自衛隊鹿児島ホームページに掲載

問 自衛隊鹿児島地方協力本部鹿屋地域事務所
TEL 0994-42-4386

申請

恋するイベント応援補助金



出会いの場づくりや婚活イベントなどの開催に必要な経費を補助します。

●補助対象者 婚活イベントを開催する団体又は事業者

●補助要件

○営利を目的として結婚相手紹介業を営んでいないこと
○20 歳以上の独身男女を対象に、鹿屋市内で実施されるイベントであること など

●補助内容 イベントの開催経費 (上限 20 万円)

※飲食費、人件費、委託費は除く

※1 団体につき年度内 1 回限り

問 市総合政策課 TEL 0994-31-1125

募集

「令和9年度鹿児島障害者職業能力開発校」の入校生



●募集科目 情報電子、グラフィックデザイン、OA事務、介護福祉サービス、アパレル、ワークトレーニング

●訓練期間 令和9年4月～令和10年3月(1年間)

●受験料・授業料 無料 ※寄宿舎有り

●選考

期日	場所	試験内容
10/ 6 (火)	奄美市	筆記試験 (国語・数学)、 面接
10/ 8 (木)	熊本市・宮崎市	
10/ 9 (金)	本校 (薩摩川内市)	

●応募 9月18日(金) までに応募書類を最寄りのハローワークに提出

問 鹿児島障害者職業能力開発校 TEL 0996-44-2206

募集

「公の施設」指定管理者



●対象施設・担当課

対象施設	担当課
かのやグラウンド・ゴルフ場 外2施設	スポーツ振興課 都市政策課
小動物園	都市政策課

●応募方法 9月3日(木) 15:00までに必要書類を各担当課に提出(必着)

※必要書類は各担当課又は市ホームページに有り

問 市財産活用推進室 TEL 0994-31-1153

募集

第57回鹿屋市文化祭
一般市民の出演(団体・個人)



●日時 10月31日(土) 13:00～
11月1日(日) 13:00～

●場所 市文化会館

●募集部門

○舞台＝舞踊、詩吟、バレエ、民謡、ダンス、大正琴、箏曲、合唱、オーケストラ、ベリーダンス など

●定員 2組(個人・団体を問わない)

※応募者多数の場合は選考

●応募 9月9日(水)までに連絡

※舞台部門の持ち時間は1組5分以上10分以内

問 鹿屋市文化協会 TEL 080-5213-6041 (大牟禮)
市文化会館 TEL 0994-44-5115

募集

放送大学(令和8年度10月)
の入学生



約300の科目があり、テレビ・インターネットを使って1科目から学べる通信制大学の入学生

●募集学生の種類

○教養学部＝科目履修生、選科履修生、全科履修生

○大学院＝修士科目生、修士選科生

●出願 事前に資料請求のうえ8月31日(月)までに必要書類等を提出

※第2回目募集は9月1日(火)～9日(水)に必要な書類等を提出

※資料請求方法等は放送大学ホームページに掲載

問 放送大学鹿児島学習センター TEL 099-239-3811

森林を伐採する際は 届け出を行いましょう



森林（保安林を除く）を伐採する場合は、伐採の30日前までに「伐採及び伐採後の造林の届出書」を提出しなければなりません。また、伐採後は「伐採に係る状況報告書」等の提出が必要となっています。

こちらを提出しなかった場合は、森林法違反となりますのでご注意ください。

※届出書等は市林務水産課、市ホームページに有り

問市林務水産課 TEL 0994-31-1173

市税等の滞納者に対する 納税催告・相談を行います



市では、市税等の滞納者に対する催告書を9月16日（水）に発送します。催告書を受け取った人は、次の期間内に必ず市収納管理課へお越しください。なお、相談等なく滞納を続けた場合は、法律に基づいて滞納処分を執行します。

●日時 9月24日（木）～10月1日（木）8:30～19:00
※9月26日（土）・27日（日）は17:00まで

●必要なもの 催告書

問市収納管理課 TEL 0994-31-1155

ひとりで悩まず、家族だけで 抱え込まず、相談してください

9月10日～16日の1週間は「自殺予防週間」です。あなたを支える相談窓口が多数ありますので、ご相談ください。

●主な相談窓口

主な相談窓口	電話
市保健相談センター（平日）	0994-41-2110
鹿屋保健所（平日）	0994-52-2124
県精神保健福祉センター（平日）	099-218-4755
県自殺予防情報センター（月・木のみ）	099-228-9558
鹿児島いのちの電話（24時間）	099-250-7000
こころの電話（平日）	099-228-9566 099-228-9567

●健康相談日 ※相談は予約制

心や身体の不調等、保健師がお話を伺います。家族も相談可能です。

○期日＝9月18日（金）、10月20日（火）、11月20日（金）

○時間＝9:30～11:30、13:00～14:30

○場所＝市保健相談センター

●こころの体温計

携帯やパソコンで心の状態をセルフチェックできます。

（使用料無料、通信料は別途発生）

▲こころの体温計



●こころ・つむぎの会（自死遺族等の会）

TEL 099-218-4755

※県精神保健福祉センター（鹿児島市）で原則偶数月に開催

●こころを落ち着けるためのWebサイト（厚生労働省）

心を落ち着かせたい時、相談窓口が混み合っている時などに試してみませんか。少しほっとするかもしれません。



▲Webサイト

問市保健相談センター TEL 0994-41-2110

特定計量器（はかり）の 定期検査を行います



特定計量器とは、商取引や証明等の記録に使用する「はかり」のことで、2年に1回定期検査を受けるよう計量法で定められています。また、検査に合格したものでないと、商取引の証明等に使用できなくなります。

今年度は、定期検査の実施年度になります。前回受験した人に対しては、市から連絡がありますので、次の日程で受験してください。

※日程等の変更があった場合は受験者に連絡し、市ホームページ等でお知らせします。

※検査には検査手数料がかかります。

※計量士による代検査を受験する場合、定期検査を受験する必要はありません。

●令和8年度市内特定計量器定期検査日程

期日	時間	場所
9/14（月）	10:30～16:00	コミュニティセンター 吾平振興会館
9/15（火）	9:30～14:00	串良公民館別館大ホール
	15:00～16:30	串良公民館細山田分館
9/16（水）	9:30～14:00	百引地区公民館
9/17（木）	11:00～14:00	古江コミュニティ消防センター
	15:00～16:00	高須地区学習センター
9/18（金）	9:30～11:00	大始良地区学習センター
	13:00～14:30	高隈地区交流促進センター 屋内運動場
9/28（月）	10:30～16:00	市役所第1別館
9/29（火）	9:30～16:00	
9/30（水）	9:30～14:00	

なお定期検査に伴い、市では事前に特定計量器についての調査を実施しています。計量器を新たに備えた又は廃止したなど、前回（令和6年度）の定期検査以降に変更がある場合は、ご連絡ください。

問市産業政策課 TEL 0994-31-1164

お知らせ 裁判所の調停委員が無料で相談に応じます

あなたのもめごとや困りごとなどに関する調停制度の手続き・利用法について、裁判所の調停委員が無料でご相談に応じます。

- 日時 9月6日(日) 10:00～15:00 ※予約不要
 - 場所 リナシティかのや2階福祉プラザ相談室・談話室
 - 相談内容
 - 民事関係＝近隣トラブル、土地建物の売買・賃貸借、賃金、交通事故による損害賠償 など
 - 家事関係＝離婚、婚姻費用・養育費、親子交流、相続・遺産分割、その他親族関係 など
- ※相談内容の秘密は厳守されます。

問 鹿屋調停協会 TEL 0994-43-2330

お知らせ 「ハロウィンジャンボ宝くじ」が発売されます

宝くじの収益金は、市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。

- 発売期間 9月16日(水)～10月16日(金)
 - 抽せん日 10月26日(月) ●価格 1枚300円
 - 当せん金
 - ハロウィンジャンボ＝1等2億円×12本、前後賞各1億円×24本 ほか
- ※発売総額360億円・12ユニットの場合
- ハロウィンジャンボミニ＝1等2,000万円×50本、前後賞各1,000万円×100本 ほか
- ※発売総額150億円・5ユニットの場合

問 公益財団法人鹿児島県市町村振興協会
TEL 099-206-1001

お知らせ ウォーキングアプリを活用した地域ポイント利用事業を始めました

ウォーキングアプリ「スポーツタウン WALKER」で付与される地域ポイントを景品と交換できる事業を始めました。

- 参加方法 アプリをダウンロードして、スポーツタウンを鹿屋市に設定し、登録して参加
- ポイント獲得方法
 - 1日に8,000歩到達することで10ポイント獲得
 - スポーツイベント等に参加することでポイントを獲得
- ポイント交換方法 2,000ポイント到達後、申請してQUOカードPay500円分をプレゼント
- 利用期限 令和9年3月3日(水) ▲市ホームページ



問 市スポーツ振興課 TEL 0994-31-1174

お知らせ 8月から国保・後期の高額療養費制度が見直されました



高額療養費制度は、医療機関や薬局の窓口で支払う医療費が上限額を超えた場合、その超えた額を支給する制度です。

国の制度改正に伴い、令和8年8月から国民健康保険・後期高齢者医療保険の高額療養費の自己負担限度額が見直されました。制度の見直しは、今回と令和9年度の2段階に分けて実施されます。

●今回の制度見直し内容

- 月額の自己負担限度額の見直し＝各所得区分の月額上限額が引き上げられました。

※多数回該当(直近12か月以内に自己負担限度額以上の負担が4回以上あった場合)の上限額は、変更ありません。

- 「年間上限」の新設＝年間(8月～翌年7月)の医療費負担に上限額を設ける「年間上限」が導入されました。月ごとの自己負担額が積み上がって年間上限額に達した場合には、超えた額を高額療養費として支給します。

●制度見直しに関する問い合わせ先

- 厚生労働省コールセンター＝TEL 0120-617-111
- ※時間は9:00～18:00のみで、日曜日・祝日・年末年始は除く

問 市健康保険課 TEL 0994-31-1162

お知らせ 認知症について考えてみよう



9月は「認知症月間」です。それに伴い、認知症に関する啓発イベントを開催します。

●日時等

No.	内容	期間	時間
1	・認知機能チェックコーナー	9/14(月)	13:00～15:00
		9/15(火)	10:00～15:00
	・「もの忘れ川柳」市民投票 ・オレンジガーデニング活動紹介 ・福祉相談	9/14(月)	13:00～15:00
		9/15(火)	10:00～15:00
		9/16(水)	10:00～15:00
		9/17(木)	10:00～16:00
2	・オレンジカフェ ・福祉用具展示 ・パネル展示	9/18(金)	9:30～15:30

- 場所 鹿屋市役所1階市民ホール

※No.1の9月17日(木)・18日(金)のみイオンかのやショッピングセンター1階催事場で実施

問 メンタルホスピタル鹿屋 TEL 0994-42-3155 (No.1)
小規模多機能ホームはあと TEL 0994-48-3164 (No.2)

お知らせ

戦傷病者・戦没者等の遺族に 対する移動援護相談を行います

戦傷病者や戦没者等のご遺族に対する援護や軍人恩給に関する疑問等について、県庁社会福祉課の職員が、直接ご相談に応じます。

●日時 9月17日（木） 11:00～14:00

●場所 西原地区学習センター

●相談料 無料

※予約不要

問 県社会福祉課 TEL 099-286-2828

お知らせ

切れた電線には絶対に 触れないでください

これから、本格的な台風シーズンを迎えます。台風通過後に、切れた電線や折れた電柱がある場合は、感電の恐れがあり大変危険です。

絶対に近づいたり触れたりせずに、お近くの九州電力送配電までご連絡ください。



問 九州電力送配電株式会社鹿屋配電事業所
TEL 0800-777-9451

講座

ジェンダー平等と自分らしい 未来を描くワークショップ



●期日 9月27日（日）、10月25日（日）、11月8日（日）、令和9年1月10日（日） ※全4回

●時間 13:00～16:00 ●定員 20人 ※先着順

●場所 リナシティかのや1階 RINABASE+
リナベースプラス

●参加料 無料

●応募 9月18日（金）までに連絡又は専用フォームから応募

問 市民課 TEL 0994-31-1150

講座

肺がん予防講演会



●日時 9月30日（水） 14:00～15:00

●場所 県民健康プラザ健康増進センター健康科学教室

●定員 80人 ※先着順

●受講料 無料

●申込 9月24日（木）までに電話又は専用フォームから申し込み

問 市保健相談センター TEL 0994-41-2110

お知らせ

ひとりで悩まず、 相談してください



学校でのいじめや家庭での虐待など、様々な人権問題の解決を図るために、専用相談電話「こどもの人権相談」強化週間を実施します。相談には法務局職員又は人権擁護委員が応じ、秘密は厳守されます。

●全国一斉「こどもの人権相談」強化週間

○期間＝8月28日（金）～9月3日（木）

○時間＝平日8:30～19:00

土・日曜日 10:00～17:00

※強化週間以外の電話受付時間は平日8:30～17:15

●「こどもの人権110番」ダイヤル

TEL 0120-007-110（全国共通・無料）

問 鹿児島県地方方法務局人権擁護課 TEL 099-219-2170

お知らせ

「かのやのるーと」利用登録会



10月1日（木）から、既存の乗合ワゴンをパワーアップしたAIオンデマンド交通「かのやのるーと」の運行を開始します。運行開始に先立ち、利用登録の手続きから予約方法（LINE・アプリ・電話）まで分かりやすくご案内する利用登録会を行います。スマートフォンやアプリの操作に不安がある人も、安心してご参加ください。

●日程等

No.	会場	部屋	期日
1	西原地区学習センター	学習室	9/14（月）
2	花岡地区公民館	会議室	9/14（月）
3	リナシティかのや	情報研修室	9/15（火）
4	東地区学習センター	学習室1	9/15（火）
5	串良公民館上小原分館	研修室	9/16（水）
6	コミュニティセンター 吾平振興会館	中会議室	9/16（水）
7	串良公民館	小会議室2	9/17（木）
8	串良公民館細山田分館	会議室	9/17（木）
9	田崎地区学習センター	学習室	9/18（金）
10	大始良地区学習センター	集会室	9/24（木）
11	高須地区学習センター	学習室	9/24（木）
12	高隈地区交流促進センター	交流促進室	9/28（月）
13	輝北コミュニティセンター	第一会議室	9/28（月）

●時間

○No.1・3・5・7・9・10・12＝10:00～11:00

○No.2・4・6・8・11・13＝14:00～15:00

問 市地域づくり推進課 TEL 0994-31-1147

講座 男女共同参画講演会 「男性脳・女性脳って本当にあるの？」

- 日時 10月18日(日) 10:00～11:40
- 場所 リナシティかのや2階情報研修室
- 講師 四本 裕子 氏(東京大学大学院総合文化研究科教授)
- 演題 最新の脳科学で読み解くジェンダー平等と無意識の思い込み
- 定員 70人 ※先着順
- 参加料 無料
- 申込 10月14日(水)までに申込書を提出又は専用フォームから申し込み
※申込書は市ホームページに掲載 ▲市ホームページ



問市民課
TEL 0994-31-1150 FAX 0994-31-1170

講座 農業者向け有機農業セミナー

- 日時 9月3日(木) 14:00～16:00
- 場所 どっ菜市場会議室(笠之原町7517-1)
- 対象者 市内の有機栽培に関心を持つ生産者 など
- 内容
- 特定非営利活動法人 鹿児島県有機農業協会＝有機JAS認証制度について
- 有限会社かごしま有機生産組合＝有機栽培の取り組み事例について
- 定員 50人 ※先着順 ●受講料 無料
- 応募 当日までに連絡又は専用フォームから応募



問市農政課 TEL 0994-31-1117

講座 令和8年度 鹿屋市家庭教育講演会

- 日時 10月3日(土) 10:00～11:40
- 場所 市文化会館
- 講師 菅生 好身 氏((一社)ルン・レルチア代表理事、俳優・歌手の菅田 将暉 氏を長男とする3兄弟の母)
- 演題 スゴ一家流 自己肯定感を高める子育て、家族育て
- 参加料 無料
- 応募 9月25日(金)までに連絡又は専用フォームから応募
※託児(2歳以上の未就学児)が必要な場合は専用フォームから1週間前までに申し込みが必要



問市生涯学習課 TEL 0994-31-1138

講座 高齢者スマホ教室



LINEを用いた災害対策方法やスマホでのフレイル予防についての講座

- 日時等
- 午前の部(10:00～12:00)

No.	期日	場所	連絡先(0994)	定員
1	9/15(火)	花岡地区公民館	31-8001	15人
2	9/17(木)	リナシティかのや	44-0321 (市生涯学習課)	20人
3	10/1(木)	コミュニティセンター 吾平振興会館	58-6036	20人
4	10/5(月)	西原地区学習センター	43-7003	15人

- 午後の部(14:00～16:00)

No.	期日	場所	連絡先(0994)	定員
5	9/17(木)	田崎地区学習センター	41-5066	20人
6	10/1(木)	大始良地区学習センター	48-3150	15人
7	10/5(月)	東地区学習センター	31-1190	20人

- 対象者 講座参加時に65歳以上 ●受講料 無料
- 申込期間
- No.1・2・5＝8月19日(水)～9月4日(金)
- No.3・4・6・7＝8月19日(水)～9月16日(水)
- 応募 申込期間の平日9:00～17:00に希望会場へ連絡

問市生涯学習課 TEL 0994-44-0321

講座 勤労者交流センター 令和8年度後期教養講座



●講座内容

区分	講座内容
運動系	リラックスヨガ(朝・夜)、健康3B体操(朝・夜)、コアリズム、太極拳、初めてさんのポールピラティス(夜)、マットピラティス、ダンス
文化系	野菜たっぷりの家庭料理、初めてさんのパン作り、クラフトバンド、ボールペン&筆ペン字、手話(朝・夜)

※各講座の詳細は、市ホームページに掲載

- 日程 10月～令和9年2月頃(全8回)
- 場所 市勤労者交流センター
- 対象者 市内在住又は在勤の人
- 受講料 1講座1,000円(全8回分)
- ※納入された受講料は返納不可
- ※別途材料費が必要な講座有り
- 応募 9月3日(木)までに申込書を提出又は専用フォームから応募
- ※応募者多数の場合は抽せん

問市勤労者交流センター TEL・FAX 0994-44-9088

講座 ランチタイムフィットネス (第2期)



様々なマシンを使ったトレーニングを行い、身体の健康づくりに取り組む教室

- 期間** 9月17日(木)～12月3日(木)の毎週木曜日(全12回)
- 時間** 12:15～13:15
- 場所** はるしま整形外科クリニック(旭原町)
- 対象者** 市内に居住し、住民票のある65歳以上の人で、原則毎週参加でき、同教室の第1期に参加していない人
- 定員** 10人 ※先着順
- 受講料** 無料
- 応募** 9月2日(水)9:00以降に連絡

問はるしま整形外科クリニック
あやま
TEL 0994-35-1118 (小山)

講座 技能講習「剪定・整枝」



剪定・整枝の基本知識や安心安全な作業方法について学べる講習

- 日時** 9月15日(火)～17日(木) 10:00～16:00
- 場所** 鹿屋市シルバー人材センター(向江町)
- 対象者** 60歳以上のシルバー会員で新たな分野で就業を希望している人、又はシルバー人材センターの新規会員として就業を目指す人
- 定員** 10人 ※応募者多数の場合は選考
- 受講料** 無料
- 申込** 9月1日(火)までに氏名・住所・電話番号を電話又はFAXで連絡

問鹿屋市シルバー人材センター
TEL 0994-40-3382 FAX 0994-43-2910

講座 らくらく体操教室 (初級コース)



脳トレーニングを取り入れたストレッチや、筋力トレーニング、有酸素運動などを行う教室

- 期間** 9月17日(木)～12月3日(木)の毎週木曜日(全10回)
- 時間** 14:00～15:00
- 場所** みんなの茶の間 慈恵園としちゃん家(田淵町)
- 対象者** 市内に居住し、住民票のある65歳以上の人
- 定員** 15人 ※先着順
- 受講料** 無料
- 応募** 9月3日(木)9:00以降に連絡

問社会福祉法人永生会 慈恵園
の
TEL 090-1190-6295 (矢野)

講座 元気なからだづくり教室 (第2期)



専門スタッフの指導のもと、マシントレーニングを中心に健康づくりや生活習慣の改善に取り組む教室

- 期間** 10月1日(木)～12月17日(木)の毎週木曜日(全12回)
- 時間** 15:45～16:45
- 場所** 恒心会おぐら病院デイクアルーム(笠之原町)
- 対象者** 市内に居住し、住民票のある65歳以上の人で同教室の第1期に参加していない人、医師の指示で運動が制限されていない人
- 定員** 10人 ※先着順 ●**受講料** 無料
- 応募** 9月15日(火)9:00以降に連絡

問恒心会おぐら病院
りょうとくじ
TEL 080-6426-2677 (3徳寺)

講座 肝属地区 環境ふれあい館講座



●日程等

<肝属地区環境ふれあい館中期講座>

No.	期日	時間	講座名	応募期限
1	9/2(水)	9:30～15:30	ミシン貸します DAY	9/1(火)
2	9/10(木) ・17(木)	10:00～12:00	着物リメイク 袖1枚から小物3点に	9/4(金)
3	10/7(水)	9:30～15:30	ミシン貸します DAY	10/6(火)
4	10/15(木)	9:30～15:30	布ぞうり作り	10/1(木)
5	10/21(水)	9:30～12:00	牛乳パック草木染め ランチョンマット作り	10/14(水)
6	10/29(木) 11/12(木) ・26(木)	10:00～12:00	古着リメイク 裂き織りでマフラー用の布づくり	10/15(木)
7	11/27(金)	9:30～15:30	ミシン貸します DAY	11/26(木)

<敬老の日ワークショップ>

No.	期日	時間	講座名	応募
8	9/19(土) ・20(日)	9:30～15:30	ペットボトルコースターにメッセージ	当日受付

- 場所** 肝属地区環境ふれあい館
- 定員** 10人 ※No.4は8人
※応募者多数の場合は抽せん
- 受講料** 無料
- 応募** 応募期限までに連絡又は来館

問肝属地区環境ふれあい館 TEL 0994-62-8101

講座 リナシティかのや 情報プラザ講座



●講座名等

No.	講座名	期日	時間
1	初めてのパソコン 文字入力6	9/28 (月)	13:30 }
2	パワーポイント 初心者講座2	9/29 (火)・30 (水)	16:30

- 場所 リナシティかのや1階ミーティングルーム
- 定員 各6人
- 受講料 ○No.1=1,000円 ○No.2=2,000円
- 応募 開講日の2週間前までには書面を提出又は来所

問 リナシティかのや情報プラザ TEL 0994-35-1002
〒893-0009 鹿屋市大手町1-1 FAX 0994-43-0744

講座 令和8年度救急医療 週間行事市民セミナー



- 日時 9月12日(土) 14:30～17:30
- 場所 リナシティかのや ●受講料 無料
- 内容 ○小児応急手当の寸劇 ○とっておきの音楽祭
○絵本読み聞かせ ○実演「心肺蘇生法」
- 講演「小児救急医療というインフラ～備えにかくるなかりしか～」
やまとう つよし (鹿屋医療センター小児科部長)
- 講師

問 鹿屋市医師会 TEL 0994-43-4757

講座 バラと花の実践講座



- かのやばら園技師によるバラ・草木・花木の栽培管理講座
- 日時 9月10日(木) 13:30～15:00
- 場所 市立図書館2階制作演習室
- 定員 15人 ※先着順
- 受講料 無料
- 申込 8月19日(水)～9月2日(水)に来館又は連絡

問 市立図書館 TEL 0994-43-9380

イベント 中国伝統楽器二胡～弦歌弓舞～ 劉福君親子二胡コンサート

- 日時 9月27日(日) 13:30～
- 場所 リナシティかのや
- 入場料 ○一般=3,000円
○学生=1,500円
※未就学児入場不可
- 曲目
○さよならの夏 ○蘇州夜曲
○青い山脈 ○影を慕いて ほか
- チケット販売所
○リナシティかのや3階売店
○鹿児島山形屋 ○島津楽器 ○チケットぴあ ほか



▲市ホームページ

問 劉福君九州二胡教室 TEL 090-9796-8602 (野尻)

イベント 楽団プロジェクト オータムコンサート



- 日時 10月12日(月・祝) 15:30～
- 場所 市文化会館
- 入場料 ○一般=1,500円
○高校生以下=500円
※未就学児入場不可
- 内容
○朗読・映像と音楽による創作作品
○クラシック音楽 など
- チケット販売所 ○市文化会館
○リナシティかのや3階売店
○電子チケット (teket) ほか



問 市文化会館 TEL 0994-44-5115

イベント 鹿屋・大隅地区障害者 就職面接会



- 障がい者雇用を検討している事業所が参加する、障がい者を対象とした就職面接会
- 日時 9月17日(木) 13:00～16:00
- 場所 ホテルさつき苑(西原1丁目)
- 対象者 就職を希望している障がいのある人
- 申込 事前にハローワークに連絡
※ハローワークで求職登録が必要

問 ハローワークかのや TEL 0994-42-4135

イベント いっしょ 一得！高齢者 ねんりん生き生き週間



- 健康づくりや生きがいづくり、認知症に関する普及啓発イベント
- 日時 9月17日(木)・18日(金) 10:00～16:00
- 場所 イオンかのやショッピングセンター
- 内容 ミニ講座、健康度測定(野菜摂取量・血管年齢など)、相談コーナー(健康・認知症・介護など) ほか
- 参加料 無料

問 市高齢福祉課 TEL 0994-31-1116

健診のお知らせ

市保健相談センター TEL 0994-41-2110



●対象者（年齢は令和9年3月31日時点） ※健康診査以外の検診については治療・通院中の人は対象外

健（検）診	対象者
健康診査	● 40 歳以上の国民健康保険被保険者 ● 後期高齢者医療被保険者 ● 40 歳以上の生活保護受給者
がん検診	● 市内に住所を有する 40 歳以上の人
子宮乳がん検診	● 市内に住所を有する 20 歳以上の女性
30 歳代健康診査	● 市内に住所を有する 30 ～ 39 歳の人

●日時等 ※受付時間は後日発送する受診票で連絡

健（検）診	期日	場所	予約期間	受付時間	定員	予約先
健康診査 ・ がん検診	10 / 24 (土) ～ 27 (火)	市保健相談 センター	9 / 1 (火) ～ 11 (金)	① 7:00 ② 7:30 ③ 8:00 ④ 8:30 ⑤ 9:00 ⑥ 9:30 ⑦ 10:00 ⑧ 10:30	各時間 24 人 程度	●日本健康倶楽部 TEL 099-273-5591 電 話：平日 9:00 ～ 15:00 ネット：24 時間対応 ※開始日は 9:00 ～、最終日は～ 15:00
	11 / 5 (木) ・ 6 (金)	東地区学習 センター	9 / 15 (火) ～ 30 (水)			
	11 / 7 (土) ・ 8 (日)	市保健相談 センター				
子宮乳がん 検診	10 / 10 (土) ・ 11 (日)	イオンかのや	8 / 27 (木) ～ 9 / 8 (火)	午前 ・ 午後	午前 100 人 程度 午後 90 人 程度	●県民総合保健センター TEL 0120-666-387 電 話：平日 9:00 ～ 17:00 ネット：24 時間対応
	11 / 14 (土) ・ 15 (日)	市保健相談 センター	9 / 24 (木) ～ 10 / 7 (水)		各日 150 人 程度	●博愛会 相良病院 TEL 099-224-1821 電 話：平日 9:00 ～ 17:00 ネット：24 時間対応
	11 / 16 (月)	吾平振興会館	9 / 24 (木) ～ 10 / 2 (金)	午前 ・ 午後	午前 100 人 程度 ・ 午後 90 人 程度	●県民総合保健センター TEL 0120-666-387 電 話：平日 9:00 ～ 17:00 ネット：24 時間対応
	11 / 17 (火)	輝北ふれあい センター				
	11 / 17 (火)	花岡地区 公民館				
	11 / 18 (水)	串良ふれあい センター				
30 歳代 健康診査	10 / 16 (金) ～ 18 (日) ※ 18 日は 女性のみ	市保健相談 センター	8 / 31 (月) ～ 9 / 11 (金)	① 7:00 ② 8:00 ③ 9:00 ④ 10:00	各日 115 人 程度	●鹿児島厚生連病院健康管理センター TEL 099-822-3002 電 話：平日 10:00 ～ 16:00 ネット：24 時間対応 ※開始日は 10:00 ～、最終日は～ 16:00 ※ 18 日の予約は電話のみ

●健（検）診項目・検診料

健（検）診	検診の種類・検診料
健康診査	●身体計測、血圧、検尿、血液、診察、心電図：無料 ※受診時は受診券が必要
がん検診	●肺がん検診（胸部 X 線検査）：無料 ●胃がん検診：500 円 ●大腸がん検診：500 円 ●前立腺がん検診：1,000 円 ●骨粗しょう症検診：800 円 ●腹部超音波：2,000 円 ●肝炎ウイルス検診：無料（未検査の人のみ）
子宮乳がん検診	●子宮頸がん検診：500 円 ●乳がん検診：500 円（50 歳以上）、1,000 円（40 歳代） ●乳がん超音波検査：4,800 円（相良病院）、4,700 円（県民総合保険センター） （20 ～ 39 歳は子宮頸がん検診、40 歳以上は乳がん検診を受診した人のみ） ●骨粗しょう症検診：800 円
30 歳代健康診査	●身体計測、血圧、検尿、血液、心電図、診察、尿中塩分量検査：無料 ●ピロリ菌検査：無料（未検査の人のみ） ●子宮頸がん検診：500 円（18 日のみ実施） ●乳がん超音波検査：4,800 円（子宮頸がん検診を受診した人のみ）

●無料対象者 ① 75 歳以上の人 ② 後期高齢者医療被保険者 ③ 生活保護世帯の人 ④ 市民税非課税世帯の人
⑤ 21 歳＝子宮頸がん ⑥ 40 歳＝胃がん、腹部超音波、大腸がん、前立腺がん、骨粗しょう症
⑦ 41 歳＝子宮頸がん、乳がん ※⑤・⑦は受診時に市から届くクーポン券が必要

今月のオススメ書籍 Bookmark



◀大隅広域図書館
ネットワークホームページ
(蔵書の検索や予約)



◀移動図書館車
「はたる号」
(巡回コース)



なきむしなきこちゃん 児童書

著 者 / ザ・キャビンカンパニー
出版社 / 福音館書店

泣き虫のなきこちゃんが涙の海を漂っていると、鳥や魚に声をかけられますが涙が止まりません。子どもの涙に寄り添う物語です。

図 市立図書館
TEL 0994-43-9380



#台所のあるところ

著 者 / 原田 ひ香
出版社 / 文藝春秋

『台所のあるところ』という深夜番組を見ているという共通点を持つ6人の女性。それぞれの台所にまつわる暮らしや思いを綴る6つの物語。

図 輝北総合支所図書室
TEL 099-486-1196



おばけのそこちから 児童書

著 者 / うちだ りんたろう
出版社 / 岩崎書店

おばけやしきが待たちに囲まれ、大人のおばけたちは大砲で散り散りに。おばけの子どもたちも追い詰められ大ピンチ！夏にぴったりの絵本です。

図 吾平振興会館図書室
TEL 0994-58-6036



白と黒のソナタ

著 者 / 宇佐美 まこと
出版社 / 祥伝社

昭和初期、英国ロンドンで造られたこの世に二つとない至高のグランドピアノ。百年の無念と切なる願いを、一台のピアノがつつなぐ。

図 串良公民館図書室
TEL 0994-63-5030

8月・9月 休日救急当番医



鹿屋市医師会 診療時間 9:00 ~ 17:00			
月 日	医 療 機 関	住 所	TEL(0994)
8月23日	㊦ 末次内科循環器科	新生町	43-2331
	㊦ おひさまこどもクリニック	新川町	42-7822
	㊦ 音和クリニック	寿5丁目	36-8863
30日	㊦ 伊東クリニック	札元2丁目	43-3500
	㊦ えとう小児科	札元2丁目	40-3700
	㊦ 検見崎クリニック	西原1丁目	43-2991
9月 6日	㊦ 前田内科	本町	42-2175
	㊦ まつだこどもクリニック	西原2丁目	52-0507
	㊦ そえじまクリニック	旭原町	41-6800
13日	㊦ みやぞのクリニック	田崎町	40-4600
	㊦ こだま小児科	笠之原町	41-5111
	㊦ はるしま整形外科クリニック	旭原町	41-2211
20日	㊦ 池田病院	下祓川町	43-3434
	㊦ えとう小児科	札元2丁目	40-3700
	㊦ 池田病院	下祓川町	43-3434
21日	㊦ 恒心会おぐら病院	笠之原町	44-7171
	㊦ やのファミリークリニック	寿4丁目	43-6248
	㊦ 恒心会おぐら病院	笠之原町	44-7171
22日	㊦ 園田クリニック	旭原町	43-8181
	㊦ こだま小児科	笠之原町	41-5111
	㊦ 村上整形外科医院	今坂町	41-2511
23日	㊦ 浜崎クリニック	向江町	43-3305
	㊦ おひさまこどもクリニック	新川町	42-7822
	㊦ 音和クリニック	寿5丁目	36-8863

肝属東部医師会 診療時間 9:00 ~ 17:00			
月 日	医 療 機 関	住 所	TEL(0994)
8月23日	吉川医院	肝付町前田	65-2022
	30日 黎明脳神経外科医院	串良町上小原	63-7878
9月 6日	しんみょう内科・脳神経内科	吾平町麓	45-4030
	13日 ルミコ医療ステーション	肝付町新富	65-0921
	20日 高山胃腸科・外科	肝付町前田	65-7171

鹿屋市歯科医師会 診療時間 9:00 ~ 15:00			
月 日	医 療 機 関	住 所	TEL(0994)
8月23日	西の原歯科	打馬1丁目	40-4180
	30日 はまち歯科・小児歯科クリニック	札元2丁目	43-8461
9月 6日	はらぞの歯科	下堀町	40-4118
	13日 ひがし歯科医院	田淵町	48-2015
	20日 根木原歯科	札元1丁目	41-0750
21日	安楽歯科	寿5丁目	44-2220
	22日 下浜歯科医院	川西町	41-5888
	23日 ひらおか歯科	新川町	41-3060

大隅肝属地区消防組合テレホンサービス TEL 0994-43-0119

平日／午後5時から夜間救急当番医を案内

※ただし、火災発生時は一時火災情報に変わります。

休日／休日救急当番医及び歯科休日急患在宅医を案内

※休日救急当番医及び歯科休日急患在宅医は変更になることがあります。各医療機関にご確認のうえ受診してください。

スクール フェスティバル

Vol.17

チャレンジ・ポジティブ・リラックス

大始良中学校

女子ソフトテニス部



▲普段の学校での練習の様子

大始良中学校女子ソフトテニス部は、3年生5人、2年生5人、1年生2人の計12人で活動しています。週5日程度の練習では、男女一緒に練習を行い、互いに切磋琢磨しています。練習中は意見がぶつかることもあります。普段は学年を超えて仲が良く、お互いを支え合えるチームです。

チームの合い言葉は、「チャレンジ・ポジティブ・リラックス」。どんな場面でも自分に負けず、前向きに挑戦することを大切にしています。これからも、先生方や保護者への感謝の気持ちを忘れず、チーム一丸となって頑張ります。



キャプテン
ふくおか はなり
福岡 花俐さん(3年生)

公民

地理

歴史

文化

文化財

まちづくり

人物

その他

かのや風土記の中身をさらに深掘り

鹿屋街道

第17路 つもつばい 土持堀の深井戸

シラス台地として有名な笠野原台地は、今でこそ畑地かんがい事業によって水で潤い、様々な作物が栽培されていますが、かつては、水が乏しく農業用水だけでなく、飲み水の確保にさえ苦しんでいました。

笠野原台地のシラスの層は数十mもの深さがあり、雨が降ってもすぐ地下に吸いこまれてしまう保水性のない土壌。そのため、水の確保が困難であり、長い間耕作ができませんでした。江戸時代には「堀」と呼ばれる土手を築き、領有を示すことで少しずつ台地が開発されていきました。堀の中では、底を粘土で固めた深さ約1mの池を掘り雨水をためたり、大木に縄で杉の葉を縛り付け、幹を流れ落ちる雨水をカメにためたりして水を確保していました。水は時間が経つとボウフラが湧いてくるので、いざ水を使うときは、カメの縁をコツコツたたいてボウフラが驚いて底の方に沈んだ瞬間にひしゃくでくみ取る「タタキ水」を使用していたといわれます。その水を使わないといけないほど水は貴重であり、大切に

使用していました。

また、笠野原台地では生活用水確保のため、他地域では見られないほど深い井戸がいくつか掘られました。そのうちのひとつが「土持堀の深井戸」です。現存する井戸のうち最も原形をとどめているもので、井戸の深さ約64m、表面の直径は約90cm、円筒形の素掘りの井戸で、掘られたのは文政年間から天保年間ごろ(1818年～1841年)と考えられています。深井戸のため、大人5人程の労力で水を汲み上げる必要があったので、土持堀の深井戸では、牛に綱を引かせて水を汲み上げていたそうです。

この深井戸は、笠野原台地の開発の苦難の歴史を物語る貴重な文化財として、昭和57年に鹿児島県の指定史跡に登録されています。

●土持堀の深井戸

場所 串良町細山田5323



▲笠野原台地における水汲みの様子。牛に綱を引かせていた。



7月21日 味覚糖株式会社立地協定締結式にて

郷原拓男の 市長コラム

第5回

— 9月の行動予定 — (一部抜粋)

- 9/ 1 (火) 鹿屋市基地関係連絡協議会
- 9/ 4 (金) 9月議会開会 (～9/30)
本会議
- 9/14 (月) 本会議一般質問 (～9/16)
- 9/20 (日) 第20回記念関西かごしま
ファンデー
- 9/27 (日) 関東串良会第74回総会

※予定は変更になる場合があります。

キラリと光る鹿屋市へ！ 国や県の政策の半歩先を見据えて！



「キラリと光る鹿屋市」を実現するために、私が大切にしたいのは、「国や県の政策の半歩先を見据える」という姿勢です。

国や県の動向を注視しつつ、制度が整うのを待つのではなく、地域の実情に合わせた施策へいち早く挑戦し、その成果を積み重ねていく。そして、現場で得られた確かな手応えや課題を丁寧に検証し、より良い政策へと昇華させていく。この「現場から政策へ」という好循環を、国や県の半歩先を歩み続けながら創りだすことこそ、「キラリと光る鹿屋市」の実現に不可欠ではないかと思っています。

この度、6月補正予算において0～2歳児の保育料無償化を肉付け予算として実現することができ



ました。これまでの取り組みと合わせ、鹿屋市を県内で最も子育て支援施策が充実した自治体へと押し上げることとなり、まさに、国の半歩先を行く挑戦の成果の一つになったのではないかと思います。

鹿屋市には、豊かな大自然、全国に誇る農畜産業など、計り知れないポテンシャルがあります。国や県の半歩先を歩む挑戦を力強く続け、誰もが誇れる鹿屋市を、共に創り上げてまいりましょう。

COLUMN

85円切手をお貼りください

8 9 3 - 8 5 0 1

POST CARD

鹿屋市共栄町20-1
鹿屋市役所 秘書広報課
広報KANOA「読者のひろば」係 行

お名前／ふりがな

電話番号

ペンネーム ※未記入の場合、イニシャルで掲載します

年齢

ご住所 □□□-□□□□

プレゼント

要 ・ 不要

歳

クイズの答え



皆さんからの メッセージを募集

広報誌への感想のほか、市へのご意見など多くの情報を、郵送又は二次元コードのご意見フォームからお寄せください。

ご意見の中から抽選で特産品等をプレゼントします。たくさんのご応募お待ちしております！

※掲載時に原稿の一部を手直します場合もあります。



▲ご意見フォーム



読者のひろば

読者の皆様からいただいたお便りの中から、
ご意見や情報などを紹介します。



初 めてメッセージを書いて
います。毎月楽しく拝見して
おり、鹿屋の魅力や情報を知ること
ができる大切な手段の一つだと
感じています。このたび主人が7
月から東京へ単身赴任することに
なりました。家族みんなが大好き
で、よく利用させていただいてい
る岩元園さんのお茶を主人にも送
ろうかなと思っています。離れて
いても鹿屋を感じられる贈り物に
なりそうです。(A・Mさん)

初めてのご投稿ありがとうございます。
毎月「広報かのや」を楽し
しみにしていただき、大変うれし
く思います。7月からのご主人様
の単身赴任、生活が変わりご不安
や寂しさもあるかと存じますが、
岩元園さんのお茶は鹿屋の香りを
届けられる素敵な贈り物ですね。
東京でも鹿屋を身近に感じ、ご主
人様が元気に過ごされますよう応
援しています。
ご家族の皆様も暑さに気を付け
てお過ごしください。

昨 年鹿屋市民になり、11月に
第二子を出産しました。妊
娠中からたくさんの温かいお言葉
をかけていただき、市民の皆様ま
の優しさに感動しました。産後も
赤ちゃんの散歩をしていると「か
わいいね」と声をかけてくださつ
たり、荷物を運ぶのを手伝ってく
ださったりと多くの方に支えてい
ただいています。また鹿屋市には
「あそVIVAかのや」や支援セン
ター、公園など子どもと一緒に遊
べるところが多く、毎日楽しく過
ごしています。知り合いはまだ多
くありませんが、子育てを温かく
支えてくださる方々がたくさんい
ることに感謝しています。(M・K
さん)

ご出産おめでとうございます。
鹿屋での子育てが、皆様のあたた
かな声かけや手助けに支えられて
いると伺い、心がほっとしました。
これからも親子の毎日が笑顔で満
ちるよう、鹿屋市も地域の皆様と
一緒に応援していきます。

長 年鹿屋市に住んでいても知ら
ないことがたくさんで、広報
かのやを毎回見ながら、制度の変更
のお知らせやホットな話題をわかり
やすく載せてくださっているの
で、自分の住む街のことについて毎月新
しい情報をいただけるので助かりま
すし、見るのも楽しいです。ネット
で情報を取得できる便利な時代では
ありますが、こうして紙媒体で手に
届くことでゆっくりと落ち着いて見
れるのはやはり嬉しい気持ちもあり
ます。(はちさん)

あたたかいお言葉をありがとうございます。
長くお住まいでも「知ら
ないことがたくさん」と感じられる
中で、広報かのやを毎回楽しみに読
んでいただけで、とても嬉しいです。
制度の変更や身近な話題を、少しで
も分かりやすくお届けできるよう、
これからも心を込めて作ってまいり
ます。デジタル化が進み、どんどん
便利になる中で、紙を手にとって、
ゆっくり読める時間も大切にしてい
ただけたら幸いです。

編集後記

敬 愛園の取材をすればするほ
ど、自分の無知や先入観に驚
かされます。周りに問うだけで
なく、私自身が歴史を紡ぐ一人となる
ように頑張っていきたいと思いま
す。(麓)

天 災の恐ろしさを令和8年熊本
地震で改めて痛感しました。
被災地の少しでも早い復興を願う
とともに、日頃の備えを自分も徹
底しないと思いました。(牧野)

愛 車がついに6回目(13年)の
車検を迎えます。非常に悩み
ましたが、今のところ悪いところ
がないので、受けようと思います。
あと2年頑張るね！(新牛込)

人 との何気ない会話や笑顔に、
元気をもらうことがあります。
忙しい毎日だからこそ、小さな
幸せや感謝の気持ちを忘れずに過
ごしていきたいものです。(遠矢)

お便り&メッセージ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

ご協力ありがとうございました。

ご応募の際にご記入いただきました個人情報、抽せん・賞品(賞品引換券)の
発送・アンケート統計以外の目的で使用することはありません。

恒心会おぐら病院 鹿児島大学脳神経外科教室
市民公開講座のご案内

**脳卒中から命を守り、
後遺症を減らすために**

当日参加
可能



開催日 **2026年9月26日土**

時間 **14時00分～16時00分**
受付：13:30～

会場 **リナシティかのや 3F**

**受講費
無料**

～早く気づいて、すぐ行動～

申し込み方法

下記QRより



連絡先

080-1583-3351

担当：永瀨・了徳寺
月～金、日祝除く
9:00～17:00

主催
社会医療法人恒心会
恒心会おぐら病院
鹿児島大学医学部脳神経外科
恒心会おぐら病院
地域リハビリテーション
広域支援センター
後援
鹿屋市

鹿屋市高齢者元気度アップ・ポイント事業の対象です



一般社団法人
シニアサポート **おおすみ**

ご利用者様の家族の代わりとして
将来的に安心して生活できるようサポートいたします。

- ・身元保証支援 入院、施設入居等の保証人
- ・日常生活支援 買い物、通院同席など
- ・もしもの時支援 緊急入院など
- ・葬送／死後事務支援 葬儀、納骨手配、後手続き
- ・金銭管理法律支援 弁護士・司法書士と管理します

資料請求と個別相談はこちら **0120-294-184**
お問合せ 9:00～17:00 鹿児島県鹿屋市旭原町3589-4(上村葬祭)

トラクター・重機・トラック・農機具

古くても、壊れてても、不動車でも **どこよりも高く買い取る** インスタグラム始めました！
見積り無料 どこでも駆け付けます！ **ことを目指して!!**

広報誌を見て、ご連絡くださった方へ粗品又は買取額10%UPいたします。

TEL 0986-77-9092 LINE査定できます！
古物商許可 第951040015111号
農機具高価買取専門店 〒899-8608 曾於市末吉町南之郷
Avanti 携帯：080-3375-9750
https://kaitorimiyazaki.jimdo.com

家族葬は花岡

— 事前相談お越しください —

広告価格で葬儀代足るの？
実は足りません。
他に費用がかかります。
だからこそ事前相談・会員制度の活用をお勧めします。

たびだち会 (お得な会員)

入会 **5,000円**

葬儀プランから

5万円引き

(例：22万円プランを17万円プランより)
※価格は税込表示

ご相談・お問い合わせ

花岡葬祭・花岡会館

鹿屋市古里町533 (花岡学園前) HP: hanaokasousai.com

電話 **0994-31-8444**



日常的なお困りごとはどのようなことでも

堂蘭法律事務所

交通事故、遺言・遺産分割、離婚・男女問題、破産
労働問題、刑事事件、債務整理、不動産登記など
どこに相談したらいいか迷ったらまずは
当事務所にご相談ください。

相談3回
無料
(法律扶助
制度利用)

☎ **0994-35-4100**

住所：鹿屋市寿3丁目12番24号 敬風ビルB2-1



株式会社 **池田大仏堂** は鹿屋と共に、創業120年 /

家族葬

15.8万円

葬儀 家族葬 海洋散骨 (税込173,800円より)

池田葬祭
ikeda saisai

0120-269-556

鹿屋市王子町3967-3



想いに寄り添う
ペットセレモニー

創業 **20** 有年
供養実績 **10,000** 件以上
完全 **個別火葬** 対応

ペット葬祭・霊園 **夢眠** もーみん

365日・24時間電話受付
☎ **0994-45-3400**
鹿屋市下高隈町6000-7



広告のひろば

(株)総合印刷

☎ **0994-43-2093**

毎月約40,000部を発行する **広報かのや**に広告を掲載しませんか

広告のひろばは、各事業所の広告を掲載することで、市民の皆さんへの情報提供を目的としています。また、市の自主財源確保の一環として行っています。

広告に関するお問い合わせは、印刷会社、市秘書広報課にお問い合わせください。

応募期限
9/15 ㊦

【応募方法】33・34 ページのはがき又はご意見フォームに、クイズの答えと、「読者のひろば」へのお便りをお寄せください。応募者の中から抽選で5名様にプレゼントします。なお、当せん者の発表は、賞品引換券の発送をもって代えさせていただきます。(7月15日号の答え：保育)

— This Month's Gift —

KANOAYeah!CITYバッグ×5名様

地元出身のサンシャイン池崎^{いけざき さとる}さんを「クリエイティブディレクター池崎慧」として起用し、本市の魅力を全国に発信してきた「KANOAYeah!CITY」プロジェクト。今回は同プロジェクトのロゴがプリントされた非売品の「KANOAYeah!CITYバッグ」を5名様にプレゼントします！

クイズ！

Q. 7月から始まった市長との意見交換会の名称は？

「GO〇〇ーク」

※〇〇に入る2文字の答えは、この広報誌のどこかにあります。

市税は納期内に
納めましょう!!

- 市民税・県民税・森林環境税(第2期)
- 国民健康保険税(第2期)
- 後期高齢者医療保険料(第2期)
- 介護保険料(第2期)

納期限 8月31日(月)

- 固定資産税・都市計画税(第3期)
- 国民健康保険税(第3期)
- 後期高齢者医療保険料(第3期)
- 介護保険料(第3期)

納期限 9月30日(水)

— MOVIE でかのや —
動画で見る広報かのや神秘の山 吾平富士の
魅力に迫る!!

今回は別名「吾平富士」として親しまれる中岳への登山動画です。円すい形の美しい山容を誇り、神野地域のシンボルでもある中岳。

その山頂から見渡す雄大な自然と風景は、まさに神話の里にふさわしい絶景です。



リナシティかのやの「リナシアター」で映画を見よう！

©2026 UNIVERSAL STUDIOS
©Universal Studios. All Rights Reserved.

ミニオンズ&モンスターズ【日本語版】

最強最悪のボスを求めて旅するミニオンズがたどり着いたのは、夢あふれるハリウッドの世界。ジェームズはヘンリー、エドとともにモンスター映画作りに挑戦する。まず、映画にぴったりなモンスター探しの旅へ出るが、新たな大騒動の始まりだった。



上映時間(90分)

- ①10:00 ~ ②12:15 ~
- ③14:30 ~ ④16:45 ~
- ⑤19:00 ~



鑑賞料

- 一般/1,900円
- 大学生/1,500円
- 高校生以下/1,000円
- 60歳以上/1,300円

問リナシティかのや TEL 0994-35-1001

※上映期間・時間・鑑賞料は変更する場合があります。

※特別割引券は、1枚につきお1人限ります。

また他の割引券との併用はできません。



上映中 ~ 10/1 ㊦

※18歳未満の方は、終映が19時を過ぎる回には必ず保護者同伴のうえ、ご入場ください。



特別割引券

ミニオンズ
&モンスターズ

割引券をお持ちの人は300円(高校生以下は200円)を割引します。
※60歳以上の人は割引対象外です。